



「令和2年度 第9回 穂波東校小中経営部会（9/28）」では、下半期における「穂波東校の小中一貫教育の取組」について話し合いが持たれました。その内容を要点のみお知らせします。

### 1 「令和2年度飯塚市教育委員会研究指定・委嘱校」としての研究のまとめ

市の研究指定・委嘱校としての成果物（研究紀要）は、年内の完成を目指し、作成に取り組みます。スケジュールの概要としては、11月の下旬までに原稿を取りまとめ、内容の点検を行い、1月の中旬までには印刷・製本を終え、1月下旬に市教委へ提出する予定です。

現在、経営部を中心に取組を進めていますが、協力依頼があった際は、よろしくお願いします。



### 2 穂波東校：小学部・中学部の学力向上の取組

小学部・中学部ともにNRT・フクトの結果分析を行い、「穂波東校の子どもたちの学力を上げるためには、今どのような取組が必要か。」について、それぞれ話し合いが持たれました。小中経営部会ではその内容を交流しました。

#### (1) 小学部の取組

小学部の2～6年生を対象に、週1時間、NRTで誤答が多かった問題（算数）を教材にした取組を実施します。児童を習熟度別に分け、そこで問題の直しをさせ、学力の定着・向上を図ります。担任だけでなく、管理職や専科の先生方を含め全員で取り組みます。

#### (2) 中学部の取組

授業改善・徹底反復学習・家庭学習の3方向から学力向上に取り組みます。授業改善では「穂波東校授業スタンダード」、徹底反復学習では「社・理・数等の小テスト」、家庭学習では「復習を中心とした自学ノート」を軸に取り組みます。

小中ともに「誤答に再度チャレンジさせること」を重視した取組である点は共通しています。

小中の取組の成果が、半年後のNRT・フクトに反映されることを大いに期待しています。

再チャレ学習

### 3 チャレンジ授業

穂波東校では、5、6年生の児童が中学部エリアに出向き、中学部教員から授業を受ける取組を実施しています。通常の出前授業とは少し異なるこの取組を「チャレンジ授業」と呼んでいます。上半期は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から「チャレンジ授業」を見送っていましたが、下半期は実施したいと思います。但し、コロナ対策として、原則、中学部教員が小学部エリアに出向いての方法を取ります。また、本年度は授業時数にゆとりがないため、昨年度のように全教科での実施は難しいと考えます。今後、小中の教務主任を中心に実施に向けた調整を行いますので、協力をお願いします。